

平成30年7月豪雨災害に係る緊急災害時動物救済基金

監 査 資 料

と き 令和元年9月5日(木) 10:00 から
ところ 岡山県獣医師会館2階会議室
岡山市北区下中野350-103
TEL: 086-243-1879

平成30年7月豪雨災害に係る岡山県動物救護本部

公益社団法人 岡山県獣医師会

1 事業報告について

平成30年7月の西日本豪雨災害の被災対応を10月末まで継続する中、(一財)ペット災害対策推進協会からの寄付金を財源とした緊急災害時動物救済基金を造成し、岡山県動物救護本部の行う被災地等における動物救護事業を推進した。

事業の推進に当たり、本部構成員の岡山県動物愛護センター及び岡山県獣医師会と緊密に連携し、わんにゃんデイケアハウスの開設、アニコム損保の診療車で巡回診療、被災動物の獣医師会員病院での一時預かりなどに対応し、被災動物の救護活動を通し被災者支援に努めた。併せて、初動対応時に、各避難所に県動物愛護センター等からの備蓄資材を提供したところであるが、大型ケージ等入手に時間を要したため対策期間中に入手できなかった資材について、基金の範囲内で備蓄の増強を行った。

- (1) わんにゃんデイケアハウスは、NPO法人ピースウィンズ・ジャパンが、所有するトレーラーハウスを被害の大きかった倉敷市真備町に搬入し、倉敷市が設定した場所に開設した「ペットの昼間一時預かり施設」で、開設時の電気施設工事費及び電気代を負担した。

デイサービス施設利用状況；延493頭(1日平均5.5頭)

8月(6日～31日)延124頭、9月延185頭、10月延176頭、11月延8頭(2日間)

- (2) わんにゃんデイケアハウスにアニコム損保の診療車を常設し巡回診療を実施した。同車両の搬出に際し、バッテリー点検など修理費用を支出した。

【診療実績】

8月10日(犬4、猫1、計5)、8月17日(犬4) 8月24日(犬2、猫3、計5)

8月30日(犬4) 9月7日(犬8)

5日間合計 犬 22 猫 4 合計 26頭

- (3) 動物病院での一時預かり等について

被災動物の1次預かりに対する支援(1頭、1日1,000円)及び被災に起因した治療対応について獣医師会動物愛護募金を財源として7月及び8月と実施してきたが、財源不足となったため、緊急災害時動物救済基金から9月分の対応を行った。

9月；10病院、実頭数 29、延べ 692(1頭約24日)(犬、猫)

- (4) 災害の備えた備蓄用資材の増強

初動対応時に不足した大型ケージ等の備蓄を増強した。

2 緊急災害時動物救済基金管理状況

岡山県動物救護本部設置要領第5条の規定により、西日本豪雨災害の動物救済基金を、(公社)岡山県獣医師会が管理した。

1. 収入額	1,899,568 円
【内訳】	
ペット災害対策推進協会 (H30. 8. 7)	500,000 円
ペット災害対策推進協会 (H30.10. 4)	750,000 円
ペット災害対策推進協会 (H31. 1.17)	649,568 円
2. 支出額	1,899,568 円
【内訳】	
わんにゃんデイケアハウス 電気仮設工事	303,048 円
わんにゃんデイケアハウス 電気代(8~11月分)	21,315 円
わんにゃんデイケアハウス アニコム車修理	11,232 円
9月分一時預かり 692頭分及び診療費	791,480 円
犬猫用ゲージ、サークル、キャリー、食器	772,493 円

(単位：円)

科 目	収入額	支出額	残高
緊急災害時動物救済基金 (預り金)	1,899,568	1,899,568	0